

投稿規定

(2021.8.4改訂)

1、投稿規定

- (1) 当雑誌は日本医学雑誌編集者会議の定める「医学雑誌編集者ガイドライン」に従って編集を行っている。
著者は特に「3. 著者と医学雑誌・編集者の倫理規範の策定」を十分に理解の上、投稿すること。
https://jams.med.or.jp/guideline/jamje_201503.pdf
- (2) 投稿原稿は、磁気共鳴医学に関するもので、未発表であり二重投稿でないものに限る。
- (3) 投稿原稿の採否は、編集委員会の指定する、原則として複数の査読者の意見を参考に決定し、筆頭投稿者に通知する。
- (4) 編集委員会は、著者に原稿の修正を求めることができる。また、編集作業上必要な変更は、編集委員会の責任で行うことがある。
- (5) 著者校正は1回とし、返送期日を厳守すること。
- (6) 特別な事情によって審査に急を要する場合には、審査料を別途納入するものとする。
- (7) 掲載された論文の著作権は、日本磁気共鳴医学会に帰属する。論文は、クリエイティブ・コモンズ(CC-BY-NC-ND4.0, 表示-非営利-改変禁止)の国際ライセンスの条件下で掲載される。
<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>
- (8) 利益相反の有無・ヒト研究における施設承認などは、適切に論文中に記載する。

2、投稿区分

本誌の投稿原稿の区分は、次による。

- (1) 原著：独創性に富み、目的、方法、結論等の明確な研究論文。
- (2) 症例報告：興味ある症例。
- (3) ノート：独創的ではあるが、部分的または断片的な研究を簡潔にまとめた論文。
- (4) レター：技術的な工夫や臨床上有用な知見に関する短報。
- (5) 編集者への手紙：掲載論文への意見および回答、その他会員に知らせるべき重要な知見。
- (6) 総説：原則として編集委員会からの依頼により投稿されたものとし、その様式は投稿規定に準ずる。
- (7) 資料：磁気共鳴医学に関係ある基準、規程等広く会員に知らせるべき重要な知見。
- (8) 特集：編集委員会の企画による、特定分野の研究成果あるいは教育的内容を記述した論文。編集委員会での企画を経た依頼に基づく投稿であり様式は総説に準ずる。

3、執筆要項

- (1) 本文は日本語または英語、要旨・図表(図説含む)は英語とする(総説、特集においては要旨・図表の日本語記述を可とする)。
- (2) A4判、縦置き、横書き、40字×20行を原則とする(文中の英文は半角が望ましい)。
- (3) 表紙には、投稿区分、表題、筆頭投稿者名(会員番号)、連絡先(所属機関名、住所、TEL、E-mail)、ランニングタイトル(20文字以内)、別刷希望部数(50部単位、有料)を記載すること。
- (4) 2頁目には、表題、全著者名、全著者所属機関名、キーワード(英文5項目以内)を記載し、以下の順に作成すること。
1. 本文、2. 引用文献、3. 英文要旨(表題、全著者名、全著者所属機関名、所在地、本文(300 word以内))、4. 表、5. 図の説明、6. 図
- (5) 2頁目より順にページ数を記入する。

- (6) 著者の所属は、投稿時のものではなく、論文に関係する仕事をした時のものを記すこと。
 (7) 規定ページ数および超過ページ代は、おおよそ次のとおりとする。

区 分	組上がりページ数	超過ページ代
原 著	8	2 頁まで 10,000 円, 3 頁以上 20,000 円/ページ
症 例	4	10,000 円, 2 頁以上 20,000 円/ページ
ノ ー ト	6	10,000 円, 2 頁以上 20,000 円/ページ
レ タ ー	2	原則として認めない
総 説		なし

- (8) 学術用語は、原則として本会の用語集、文部省科学省、JIS で制定されたものを用いる。
 (9) 日本語投稿の際には、原稿中に英文を用いることは人名、文中での図表の指示等を除き、原則として避ける。やむを得ず用いるときは、固有名詞や特別の理由のない限り小文字を用いる。数字は算用数字、単位は SI 単位を用いる。
 (10) 英語投稿の際には MRMS 誌の投稿規定 https://www.jsrm.jp/modules/journal/index.php?content_id=1 に準ずる。英語症例報告については、下記の規定のとおりとする。

英語症例報告執筆要項	
Words	3,200 words (4,800 words if a review of the literature is included)
Abstract	75 words
Structure	Abstract, Introduction, Case Report, Discussion, Conclusion, (Acknowledgment), Conflicts of Interest, References, Legends
References	Up to 12 (If a review of the literature is provided, up to 50 references can be included.)
Table/Figure	No limit

4、図・表については以下の要領に従うこと

- (1) 図(写真等)の説明は英文とし、本文を参照しなくても内容がわかるよう簡潔明瞭に示す。
 (2) 表の形式は英文とする。
 (3) 図・表には、記載順に通し番号 (Fig. 1. Table 1.) を付け、1 図 1 表ずつ別紙にする。
 (4) 図(写真等)は、JPEG, TIFF, PPT で作成する。画像は 300 dpi, 線画などは 1200 dpi を用いる。
 (5) 図(写真等)・表は、刷り上がり希望の大きさ(横幅 60, 90, 120 mm のいずれか)を右余白に記入する。また、おおよその挿入位置を本文原稿の右余白に朱書きする。
 (6) 図(写真等)のカラー印刷を希望する場合はその旨を明記し、実費(1 頁無料, 2 頁以上 50,000 円/ページ)を納めるものとする。
 (7) 他雑誌の図・表を利用する場合は、引用を明示し、著者自身が転載許諾を得る。

5、引用文献

- (1) 記載順序は引用順とし、本文中の引用箇所右肩にアラビア数字を記入すること。
- (2) 文献の書き方は、次の形式による。
 - 雑誌 全著者名（10名以上の場合は3名まで、以下を「，他」，「et al.」と略記）：論文タイトル．雑誌名 発行年；巻：始ページ-終ページ
 - 著書 全著者名：書名．発行社の所在地名，国名：発行社，発行年；引用ページ
 - Web ページ 機関名：Web ページタイトル．URL

[引用例]

Naganawa S, Nakane T, Kawai H, Taoka T:Gd-based contrast enhancement of the perivascular spaces in the basal ganglia. Magn Reson Med Sci 2017 ; 16 : 61-65

宮地利明：第4章 緩和時間の測定 標準MRIの評価と解析．東京：オーム社，2012；102-111

Boston Scientific：冠動脈インターベンション製品一覧．<http://www.bostonscientific.com/jp-JP/medical-specialties/Interventional-cardiology/productss.html>

6、投稿

図を含めたPDFを日本磁気共鳴医学会雑誌編集委員会宛へメールで送信すること。図に関しては上記4で示すフォーマットのファイルも添付すること。

送信先：一般社団法人日本磁気共鳴医学会雑誌編集委員会 宛

E-mail: office-ad@jsmrm.jp

7、利益相反

著者は、研究を開始してから3年以内の利益相反（COI）を開示しなければならない。本文の参考文献の前に適切な文を挿入すること。宣言すべき利益相反がない場合は、「著者は利益相反がないことを宣言する」という文を挿入する。また、査読後に共著者全員が著者等の利益相反に関する所定の自己申告書を提出すること。

研究者氏名：

当該研究責任者氏名：

	金額	該当状況	企業名等
役員・顧問職・社員など	100万円/社/年を超える	有・無	
エクイティ（株など）	利益100万円/社/年を超えるか/ 全株式の5%以上	有・無	
特許使用料	100万円/社/年を超える	有・無	
講演料・原稿料など	100万円/社/年を超える	有・無	
臨床研究（治験）	代表者として参加	有・無	
研究費	200万円/社/年を超える	有・無	
その他の報酬	5万円/社/年を超える	有・無	

また、編集委員会は、著者および編集プロセスに関係するすべての人が、国際医学雑誌編集者委員会が提供するガイドラインに従うことを推奨している（「利益相反」参照）。

<http://www.icmje.org/icmje-recommendations.pdf>

https://www.honyakucenter.jp/usefulinfo/uniform_requirements2018.html（日本語訳）

一般社団法人日本磁気共鳴医学会雑誌編集委員会 委員長 小島 隆行